

人と人とちいきのつながりづくりへ

# ちいきのわ

15

平成29年  
(2017年)  
9月

発行：豊中市 編集：市民協働部コミュニティ政策課



STUDENT VOLUNTEERS

## 私たち、ボラってます！

## 学生・若者の活躍

高校生や大学生が、地域自治組織や市民活動団体に出向き、ボランティア活動をしています。若者が地域活動・市民活動と出会うことで、そこに多世代交流が生まれ、活動が活性化しています。今回の「ちいきのわ」は、関西学院大学と府立豊中高校の取組みを紹介します。

Round  
**A20**



## 関西学院大学の学生が 防災訓練を企画・運営!!



南桜塚校区地域連絡協議会では、昨年度から関西学院大学社会学部(西宮市)・関寛教授のゼミ生たちと、校区内の防災訓練の企画・運営を協働で行っています。関先生の専門領域が災害からの復興やボランティアであることに加え、ゼミ生も他の自治体での活動実績があることから、新たなフィールドとして市の地域担当職員が同協議会を紹介。学生が持つ防災に対するスキルやノウハウ、若い世代の発想を地域の活性化につなげると同時に、学生の新たな活躍の場、成長の場になっています。

昨年度の防災訓練では、学生が子ども向けの企画を担当したところ、訓練の参加者が増えるとともに、子育て世代など新たな層への広がりが見られました。  
今年度は新3回生が加わり、同協議会の一員として夏祭りに参加。住民の皆さんと気軽に話せる関係をつくりながら、地域課題を共有して活動を盛り立てています。今後も、同協議会の更なる活性化を図るために、小学生向けの防災教室(9月)や防災訓練(11月)の企画・運営に参画することになっています。

学生  
A20 Round  
若者の  
活躍

## 豊中高校 ボランティア活動の “志学”が地域でキラリ



府立豊中高校(上野西)にあるカリキュラム“志学”。2年生になると全員が地域でボランティア活動を行うというユニークなもので、地域活動への参加・協力を通じて社会人としての自律力や社会への理解を深めることを目的としています。  
ボランティアの活動先は、阪急豊中駅北改札口前にある市民活動情報サロンでも紹介しています。同サロンは市民公益活動団体を支援する施設。10歳代の若者と市民公益活動団体との出会いの場と、その活動に参加する橋渡し、いわゆるマッチングを

行い、“志学”では豊中高校とも連携しています。高校生たちはボランティア先を決めるとさっそく地域に出向きます。千里文化センター「コラボ」(新千里東町)にある屋上庭園の作業やおもしろ実験教室、障害のある人たちの表現活動での舞台準備、豊中まつりの市民活動団体ブースでのお手伝いなど、活動内容はさまざまです。若くて柔軟な発想、そして笑顔をもって、市民公益活動を盛り上げている生徒の皆さん。いま、このような活動が市内のあちこちでキラキラと輝きを放っています。



防災訓練の企画会議



防災訓練で子ども向けの企画を担当



夏祭りで屋台のお手伝い



コラボ屋上庭園での作業



コラボおもしろ実験教室

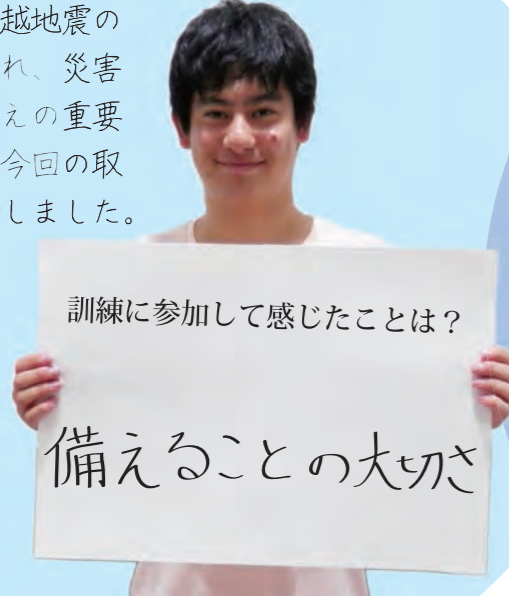


豊中まつりで出店団体のPR

### 学生の感想

関西学院大学 社会学部 4回生  
おおしま ともゆき  
大志万 知之 さん

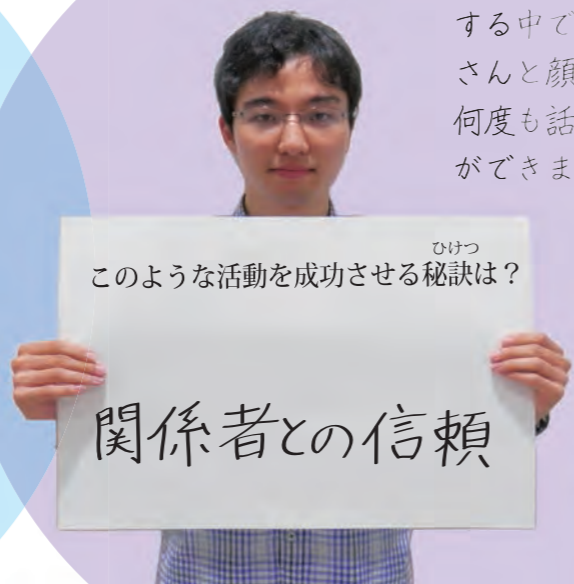
新潟県中越地震の被災地を訪れ、災害に対する備えの重要性を感じ、今回の取組みに参加しました。



訓練に参加して感じたことは?  
備えることの大切さ

関西学院大学 社会学部 4回生  
わらしな けい  
藁科 慧 さん

訓練を企画・運営する中で、地域の皆さんと顔を合わせて何度も話をすることができました。

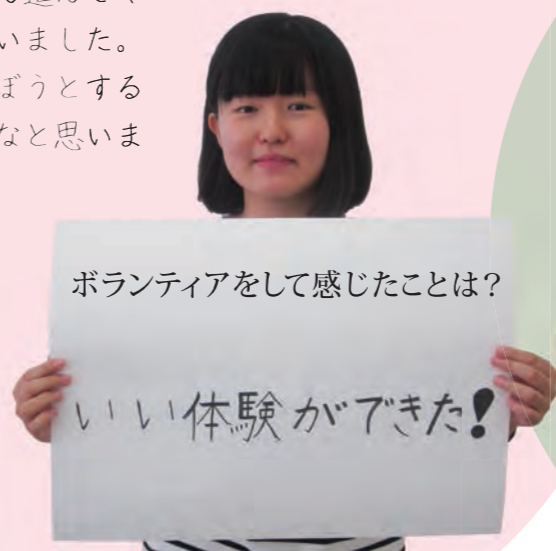


このような活動を成功させる秘訣は?  
関係者との信頼

### 学生の感想

豊中高校 2年生  
おおうえ ひろな  
大上 紘奈 さん

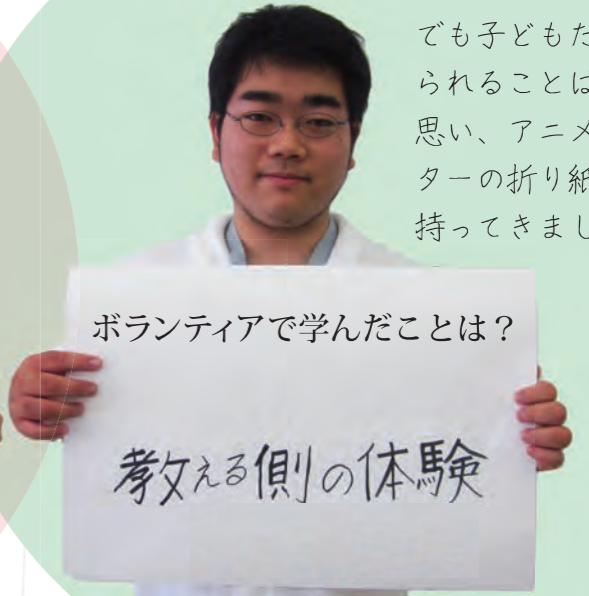
実験のとき、子どもたちはどんどん進んでやろうとしていました。自分から学ぼうとする姿勢がいいなと思いました。



ボランティアをして感じたことは?  
いい体験ができた!

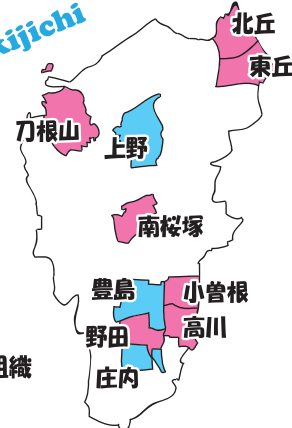
豊中高校 2年生  
ひらかわ たく  
平川 拓 さん

実験のお手伝いをするだけでなく、何か自分でも子どもたちに教えられることはないかと思い、アニメキャラクターの折り紙を作って持ってきました。



ボランティアで学んだことは?  
教える側の体験

# 上野校区で地域自治組織の検討を開始!!



**上** 野校区では、平成23年に地域自治のモデル校区として「上野地域連絡会」を  
発足しました。今年4月からは上野地域連絡会を母体として、地域自治組織の  
設立に向けた検討をはじめ、上野校区の現状や課題の調査・把握の取組みなどを進め  
ています。

■ 地域自治組織  
■ 検討会

## 知る・学ぶ・体感する □ ミュニティ政策学会 in 豊中

**地** 域コミュニティやまちづくりのこれか  
らを話し合う「コミュニティ政策学会」  
が、7月1日・2日に千里文化センター「コラボ」  
などで開催されました。市民や研究者など延べ  
793人の参加がありました。



安家  
比呂志  
さん

Ake Hiroshi



2日目の分科会では、南桜塚校区の  
取組みが発表されました!

**安家さん** 取組みの柱としている防  
犯活動をはじめ、学生と協働した防  
災事業の企画から運営までのプロセ  
スや地域内の変化、学生への思いを  
お話ししました。

**関さん** “地域で活動する大学生”・  
“大学生を受け入れる地域”それぞ  
れの課題や両者を支える鍵となるコ  
ミュニケーター(仲介者)の役割な  
どについて紹介しました。

関  
嘉寛  
さん

Seki Yoshihiro



関西学院大学社会学部 教授

### 市民公益活動団体の紹介

### activity voices



## かおりのひろば

子どもの頃に遊びまわった森林の  
匂い、庭先で咲いていた花の香り…  
自然の持つ香りをいい香りだと感  
じたことが、皆さんも一度はあるの  
ではないでしょうか。植物の香りで  
癒し、癒されることの大切さについ  
て香育(香りの体験教育)を通じて  
伝えてるのが「かおりのひろば」  
です。

主な活動場所は、豊中市内の学校  
や公共施設。親子サークルやPTA  
などで香育としてアロマセラピー  
を知ってもらう活動をしています。

最近、アロマセラピーがメンタ  
ルヘルスや認知症予防に効果がある  
とも言われており、ますます注目度  
がアップ。出前講座の依頼も増えて  
いるとか。「目に見えないけどすご  
い！」香りの力やアロマセラピーの

すばらしさを多くの人々に伝えてい  
きたいです、と代表の福本恵子さん。  
皆さんも「かおりのひろば」の活動  
に参加して、生活の中に香りを取り  
入れてみませんか。



植物の香りの違いを体験



福本 恵子さん